

インターネット歴史編纂関連状況 (Networking History BoF報告)

2013年4月18日

IETF報告会(86thオランダ)

JPNIC歴史編纂ワーキンググループ

森下 泰宏

@OrangeMorishita

自己紹介

- 氏名: 森下 泰宏 (もりした やすひろ)
- 勤務先: (株) 日本レジストリサービス
– 肩書: 広報宣伝室 技術広報担当
- 最近の業務内容: ドメイン名・DNSに関する技術情報をわかりやすく伝える
- twitter: @OrangeMorishita
- キーワード:

「重複をお許ください」



本日の内容

- Networking History BoFの概要
 - Elizabeth “Jake” Feinlerさんについて
 - “THE NIC COLLECTION”
 - BoF chair: Marc Weberさんについて
 - 今回のBoFの内容
 - 当面の目標
 - BoF会場の雰囲気
 - 公式メーリングリスト (Nethistory ML)
- 参考: JPNIC歴史編纂委員会について
- まとめ・参照 (References)

Networking History BoFの概要

- IETF86においてBoFとして開催
 - Bar BoFではなくBoFとしてAgendaに正式掲載
 - つまり、**将来のWG化**が前提
- WGはどのエリアにできるのか？
 - General Areaを予定
 - つまり、担当ADは**IETF chair**
- Chairs
 - Chair: Marc Weber (Computer History Museum)
 - Instigator (扇動者): **Elizabeth “Jake” Feinler**

Elizabeth “Jake” Feinlerさんについて

(注: 以降では「Jakeさん」と呼びます)

- 1931年生まれ、82歳 (Wikipediaより)
- SRI-NICで1972年～1989年にDirectorを務めた
 - つまり「インターネット資源管理」の初代責任者
- 1980年代に最初のgTLD創設にかかわる
 - 「チームで考案したのです。一般的な名前を使うというコンセプトは私が考えましたが、必ずチームで協議していましたから」(Jakeさん)
- 第1回「インターネットの殿堂」において殿堂入りした33人のうちの一人

Jakeさん

SRI-NIC当時

現在(今回のBoFにて)

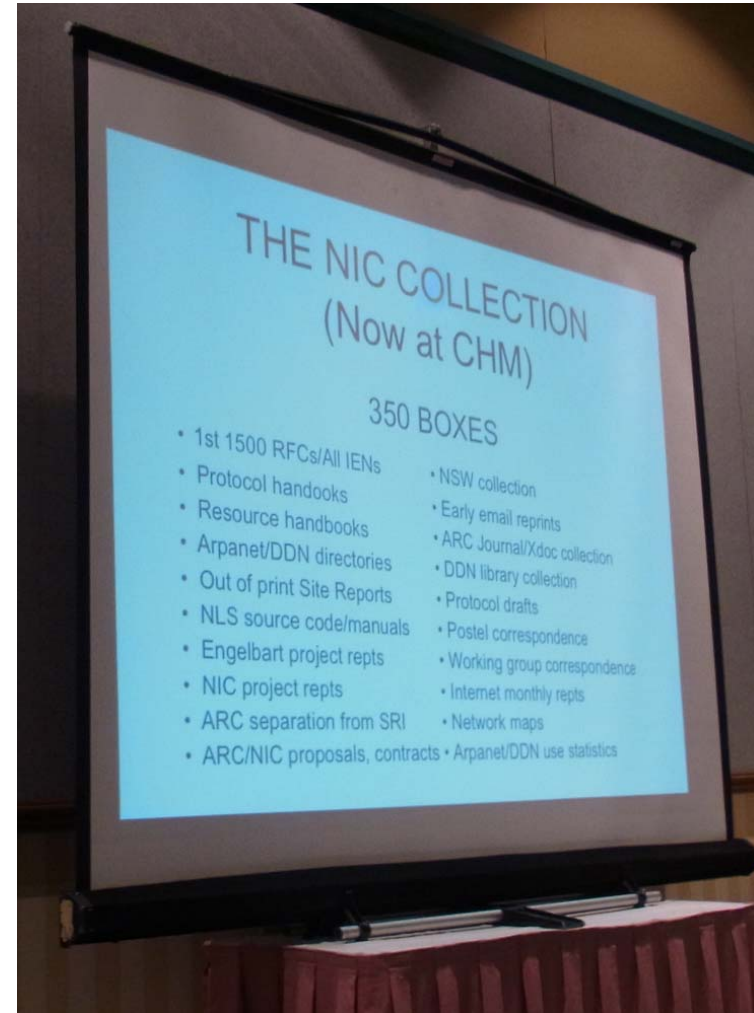


<http://sloan.stanford.edu/mousesite/gallery/photos/w11.html> より引用

Copyright © 2013 JPNIC歴史編纂ワーキンググループ/JPRS

“THE NIC COLLECTION”

- Jakeさんが**段ボール350箱**分の**私蔵コレクション**をComputer History Museum (CHM)に寄贈
- **「THE NIC COLLECTION」**と名付けられた
 - 在任期間中(1972～1989年)の膨大な**紙の資料**
- 今回のBoF開催に至る**大きなきっかけ**の一つとなった
 - Instigator(扇動者)



「350箱」の主な中身

THE NIC COLLECTION (Now at CHM)

350 BOXES

- 1st 1500 RFCs/All IENs
- Protocol handbooks
- Resource handbooks
- Arpanet/DDN directories
- Out of print Site Reports
- NLS source code/manuals
- Engelbart project repts
- NIC project repts
- ARC separation from SRI
- ARC/NIC proposals, contracts
- NSW collection
- Early email reprints
- ARC Journal/Xdoc collection
- DDN library collection
- Protocol drafts
- Postel correspondence
- Working group correspondence
- Internet monthly repts
- Network maps
- Arpanet/DDN use statistics

<http://www.ietf.org/proceedings/86/slides/slides-86-history-3.pdf> より引用

「350箱」の存在経緯 (なぜ膨大な紙の資料があったのか)

- **質問回答用 & 報告書の保管庫だった**

– 「それほどの分量の資料を保持していたのは、当時のネットワークはそれほど高速ではなく、質問を受けた際にオンラインですぐに答えにアクセスできなかったため、**すばやく参照できるように紙で情報を保存していた**からです。また、NICはインターネット上のあらゆるサイトから**紙の報告書が寄せられる保存庫**でもありました」(Jakeさん)

「350箱」の存在経緯 (なぜJakeさんが私蔵していたのか)

- 実は、SRIによって捨てられる寸前だった
 - 「私 (Jake) は偶然、すべての書類を処分しようとしているところに出くわしました。インターネットの歴史を刻んだ重要な書類があるはずと考えた私は、真夜中にもかかわらずSRIの所長に電話しました。彼は不機嫌そうでしたが、直ちに撤去するのであれば私が書類をすべて持ち帰ってもよいと言いました。そこで箱に詰めて自宅のガレージに運んだのです」(Jakeさん)

BoF chair: Marc Weberさんについて

(注:以降では「Marcさん」と呼びます)

- コンピューター歴史博物館 (Computer History Museum) で Internet History Program の Founding Curator を務める
- Curator (キュレーター) とは
 - 「博物館 (美術館含む)、図書館、公文書館のような資料蓄積型文化施設において、施設の収集する資料に関する鑑定や研究を行い、学術的専門知識をもって業務の管理監督を行う専門職、管理職を指す」(Wikipediaより)
 - 従来の「学芸員」よりも専門性が高い
 - 最近では日本でも「キュレーター」という言葉を耳にするようになった



今回のBoFの内容(1)

- Jakeさんによる「基調講演」
 - 歴史編纂の意義と「350箱」の説明
- Marcさんによるイントロダクション(詳細は後述)
 - なぜネットワークの歴史を保存すべきなのか
 - 5つの神話(Five Common Myths)
 - コンピューター歴史博物館の活動
 - なぜIETFなのか
 - 当面の目標

今回のBoFの内容(2)

- 現在進行中の各プロジェクトの紹介
 - Kilman Chonさんが進めている「アジアの歴史」の紹介もあり(CERNETのXing Liさんが資料を代読)
 - <<http://internethistory.asia/>>
- Brain storming & Open mic
 - Dave Crockerさんが司会進行
 - いわゆる「大御所」の一人
 - **IETF1**から参加、現在も現役のエンジニア
 - ICANN理事会議長を務めるSteve Crockerさんの実弟
 - ちなみにSteve Crockerさんは**RFC1**の著者

なぜネットワークの歴史を 保存すべきなのか(1)


- デジタルデータは実は保存性がとても**悪い**
 - 手元に保存しない
 - 後で変更(改ざん)されるかもしれない
- 「デジタル暗黒時代(Digital dark age)」
 - 歴史における**最も大事な瞬間**が残されない
 - Risk of a “digital dark age”: nothing will be left of the most important moments in the history of computing

なぜネットワークの歴史を 保存すべきなのか(2)

- コンピューティングは他の分野に比べ、新しいモデルを作る時に従来のモデルをあまりにも参考にしない
 - 他の分野の例: 科学(science)、機械工学(mechanical engineering)、文学(literature)、ファッション(fashion)
- その結果、コンピューティングやネットワークの分野では過去の教訓がほとんど生かされ(てい)ない
 - 現実の問題を解決すべく取り組んできたことが蓄積されない
 - 実際にそれにかかわった人しか経験を共有していない
 - それ以外の人との共有がとても難しい

5つの神話 (Five Common Myths)

- If it's online, it will be saved
(①オンラインであれば保存されるだろう)
- It's not worth saving data because...
(無価値な保存データ、そのわけは...)
 - nobody will be able to read anyway
(②誰もどんな方法を使っても読めなくなる)
 - and/or the media will degrade
(③かつ/あるいは、メディアは劣化する)
- Somebody must be saving this stuff
(④誰かが保存してるに違いない)
- Nobody wants this kind of stuff
(⑤誰もそんなもの欲しがらない)



この典型例を
次ページで少し...

例えばこういうのとか・・・



こういうのを読むのは大変



コンピューター歴史博物館の活動 (CHM Internet History Program)

CHM Internet History Program

- Program: <http://computerhistory.org/nethistory>
- [Net History Resource Guide](#)
- [Search Collection](#)
- Exhibits (physical and line): [Networking](#), [Web](#), and [Mobile](#) galleries
- [Donor offer pages](#)
- [Oral Histories](#)
- [Guide](#) (Finding Aid) to the SRI NIC collection

<http://www.ietf.org/proceedings/86/slides/slides-86-history-3.pdf> より引用

なぜIETFなのか

- 現在のインターネットを形作るさまざまなことが、ここ(IETF)の参加者によって作られてきた
 - まさにネットの歴史そのものである
 - Jakeさんの言葉: “Its where the history is”
- 広く周知された「標準化」という力(ポテンシャル)
- 国際的な到達性(International reach)
- IETFの面々は「ソリューションの創造」において、他にない能力を備えている
 - これは他(歴史編纂)の場面でも有効なはず

当面の目標

1. Collect and share information on archives
(アーカイブの情報収集と共有)
2. Collect and share information on historical materials in need of preservation
(保存の必要がある歴史資料の収集と共有)
3. Develop processes for real-time collection of key materials; RFCs a current example
(鍵となる素材のリアルタイム収集のための手法の開発、RFCは現時点における一例)

BoF会場の雰囲気

- いわゆる「大御所」が一堂に集結(約150人)
- ものすごい**大御所オーラ**(by @lefさん)
 - 手が震えてキーボードがうまく打てませんでした
- そんな錚々(そうそう)たる大御所たちがJakeさんに対して払う、**ものすごい敬意**(Jakeさんの所へ続々とごあいさつに・・・)



 **Ruri Hiromi**
@ruriham フォロー中

本当にブルブルしてます！ RT
[@OrangeMorishita](#): キーボード打つ手がぶるぶる震えてます。。。 RT [@lef](#): (なんかこの部屋怖い.....！大御所オーラすごい) #ietf86j
#history

[← 返信](#) [↻ リツイート](#)の取り消し [★ お気に入り](#)に登録 [⋮ その他](#)

<https://twitter.com/ruriham/status/311201865528393730> より引用

公式メーリングリスト (Nethistory ML)

- 公式メーリングリスト (誰でも登録可能)
 - Nethistory ML (nethistory at ietf.org)
<<https://www.ietf.org/mailman/listinfo/nethistory>>
- 現在までにメールは**5通**
 - 2013年3月10日～11日

参考： JPNIC歴史編纂委員会について

- JPNICに組織
- 設置目的
 - 現在のインターネット資源管理がどのように成立してきたのかに関して興味を持ち、それについての情報を得ようとする人々に対して正しい情報を提供するとともに、その情報が世の中から幅広く参照され公益に資することを目的として、資源管理に関するこれまでの歴史のとりまとめを行う。
- 活動内容
 1. 出版物、会議資料、論文など各種歴史資料の収集
 2. メールアーカイブなど各種電子資料の収集
 3. 関係各者に対するインタビュー
 4. 時系列や事象別、重要度、公開が可能か否かなどに応じた情報の整理
 5. 歴史編纂の集大成とする書籍の刊行・オンライン資料館設置

メンバー構成(敬称略:五十音順)

- 監修
 - 後藤滋樹(JPNIC 現理事長)
 - 村井純(JPNIC 初代理事長)
- 委員
 - 浅羽登志也
(元JPNIC IP-WG主査)
 - 佐野晋
(元JPNIC 運営委員長)
 - 坪俊宏
(元JPNIC ドメイン名担当理事)
 - 中山雅哉
(元JPNIC 事務局長)
- 調査・インタビューなどの実作業はJPNIC歴史編纂ワーキンググループにより実施

まとめ

- 本BoF⇒WGの本格的な活動はこれから(のはず)です
- Open micの時間に森下がマイク前に立ち、われわれの活動を紹介し、コラボレーションしたいと宣言しました
 - つまり、われわれはもう後に引けなくなりました
- 私にとって7年ぶりの海外IETFでした
 - 現場でご一緒だった方々には大変お世話になりました
 - 発表者や参加者には、新しい方も多くいらっしゃいました
 - ただ、毎回マイク前に立ったり会場でブイブイ言わせてる(死語)方々は、**7年前とあまり変わっていない**ような気がしました

参照 (References)

「.comドメインはこうして生まれた – Elizabeth “Jake” Feinler」

Software Designer #30、
Software Design 2011年
10月号 p.172-175

スライド5、9、10の
(Jakeさん) 発言の引用元

最近出版された「Software
Design総集編」のDVD-ROMに
入っています (PDF形式)



参照 (References)

(Jakeさん紹介関連)

- Elizabeth J. Feinler - Wikipedia
 - <http://en.wikipedia.org/wiki/Elizabeth_J._Feinler>
 - (Wikipedia英語版)
- Elizabeth Feinler | Internet Hall of Fame
 - <<http://www.internethalloffame.org/inductees/elizabeth-feinler>>
 - (インターネットの殿堂のJakeさんの紹介ページ)
- Elizabeth Feinler - INTERNET HALL of FAME PIONEER
 - <http://www.youtube.com/watch?v=idb-7Z3qk_o>
 - (インターネット殿堂入りの時の表彰動画 (ISOC公式))
- Elizabeth Feinler - Profile of a 2012 Internet Hall of Fame Inductee
 - <http://www.youtube.com/watch?v=stmIMH__sro>
 - (Jakeさんの自己紹介ビデオ (ISOC公式))

参照 (References)

(Jakeさん関連歴史資料)

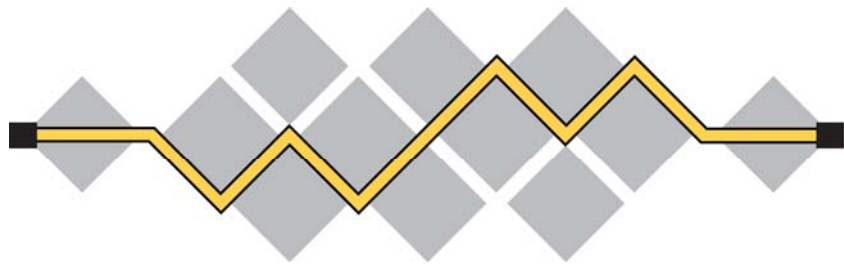
- Elizabeth (Jake) Feinler
 - <<http://sloan.stanford.edu/mousesite/gallery/photos/w11.html>>
 - (現役時代のJakeさんの写真)
- Before Google and GoDaddy, There Was Elizabeth Feinler
 - <<http://www.wired.com/wiredenterprise/2012/06/elizabeth-jake-feinler/>>
 - (インターネット殿堂入り当時のWiredの取材記事)
- Feinler, Elizabeth oral history
 - <<http://www.computerhistory.org/collections/accession/102702199>>
 - (2009年9月のインタビュー(oral history)、書き起こし49ページ)
- Guide to the SRI ARC/NIC records
 - <<http://www.computerhistory.org/collections/accession/102706170>>
 - (「350箱」の目録)

参照 (References)

(Networking History BoF関連)

- Networking History BoF Agenda, IETF 86, Orlando
 - <<http://tools.ietf.org/agenda/86/agenda-86-history.html>>
 - (今回のBoF Agenda)
- Networking History BoF
 - <<http://www.ietf.org/proceedings/86/slides/slides-86-history-3.pdf>>
 - (今回の発表資料)
- Computer History Museum
 - <<http://www.computerhistory.org/>>
 - (コンピュータ歴史博物館公式ページ)

Q&A



I E T F[®]

